



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 ボーソー油脂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2608 URL http://www.boso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 薫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 古川 勝彦 TEL 047-433-5551
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,983	0.0	26	-	19	-	△17	-
2020年3月期第1四半期	2,982	△1.7	△73	-	△80	-	△84	-

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △6百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △96百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△11.95	-
2020年3月期第1四半期	△56.82	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,339	3,993	42.7
2020年3月期	9,731	4,000	41.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,990百万円 2020年3月期 3,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	-	-	0.00	0.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,530	1.5	35	-	△20	-	△30	-	△20.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	1,606,000株	2020年3月期	1,606,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	125,148株	2020年3月期	125,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	1,480,858株	2020年3月期1Q	1,480,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動の制限を余儀なくされております。食品業界においても、緊急事態宣言の発令により外食や給食需要が激減するとともに、家庭内調理の需要が高まるなど、食を取り巻く環境は大きく変化いたしました。緊急事態宣言はひとまず解除されたものの、未だ感染収束の兆しが見えない中、先行きは極めて不透明な状況が続くと思われま

す。こうした中、当社グループでは、業務用食用油につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛の影響で外食向け需要が減少いたしました。取引先の新規開拓等により販売数量は前年同期並みを維持し、ナタネ油の採算性を重視した営業活動により、売上総利益では前年同期を上回りました。

家庭用食用油につきましては、従来より注力しておりましたこめ油の取扱店舗拡大に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛などにより家庭内調理の需要が高まったことで、販売数量、利益ともに前年同期を大きく上回りました。

油粕製品である脱脂糠につきましては、こめ油の生産に見合った適正数量の販売を安定的に継続しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業成績は、売上高29億83百万円（前年同四半期は29億82百万円）、営業利益26百万円（前年同四半期は営業損失73百万円）、経常利益19百万円（前年同四半期は経常損失80百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失17百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失84百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は43億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億68百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が1億94百万円減少したことによるものであります。固定資産は50億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。主な減少の要因は、有形固定資産が33百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、93億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億91百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は31億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6百万円減少いたしました。主な減少の要因は支払手形及び買掛金が2億84百万円減少したことによるものであります。固定負債は22億円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。主な減少の要因は長期借入金が71百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億84百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は39億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を17百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,710	961,216
受取手形及び売掛金	2,320,135	2,247,408
商品及び製品	446,680	427,492
仕掛品	255,764	240,603
原材料及び貯蔵品	456,775	382,326
その他	51,939	58,881
貸倒引当金	△2,777	△2,639
流動資産合計	4,684,227	4,315,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	949,087	943,106
機械装置及び運搬具（純額）	923,283	902,502
土地	1,973,993	1,973,993
リース資産（純額）	643,400	633,913
その他（純額）	13,350	12,659
建設仮勘定	8,441	11,428
有形固定資産合計	4,511,557	4,477,604
無形固定資産	64,614	62,143
投資その他の資産		
投資有価証券	380,330	395,850
その他	90,353	88,558
投資その他の資産合計	470,683	484,409
固定資産合計	5,046,855	5,024,158
資産合計	9,731,083	9,339,448

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,613,013	1,328,592
短期借入金	1,283,680	1,276,630
未払法人税等	71,320	5,824
賞与引当金	92,305	38,094
その他	390,767	495,862
流動負債合計	3,451,086	3,145,004
固定負債		
長期借入金	609,760	537,840
退職給付に係る負債	520,869	522,934
役員退職慰労引当金	12,433	12,865
繰延税金負債	497,664	503,618
資産除去債務	3,429	3,439
リース債務	635,290	620,102
固定負債合計	2,279,448	2,200,799
負債合計	5,730,535	5,345,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	1,959,086	1,941,393
自己株式	△196,965	△196,974
株主資本合計	3,928,017	3,910,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,806	80,231
その他の包括利益累計額合計	69,806	80,231
非支配株主持分	2,724	3,097
純資産合計	4,000,548	3,993,644
負債純資産合計	9,731,083	9,339,448

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	2,982,431	2,983,134
売上原価	2,615,232	2,530,052
売上総利益	367,198	453,081
販売費及び一般管理費	440,815	426,383
営業利益又は営業損失（△）	△73,617	26,698
営業外収益		
受取配当金	4,917	5,003
受取手数料	1,963	540
受取保険金	11,114	1,712
貸倒引当金戻入額	5	196
その他	1,520	1,322
営業外収益合計	19,521	8,775
営業外費用		
支払利息	15,856	13,900
支払手数料	8,611	-
その他	1,944	2,469
営業外費用合計	26,412	16,370
経常利益又は経常損失（△）	△80,508	19,104
特別損失		
固定資産除却損	816	-
公開買付関連費用	-	33,202
特別損失合計	816	33,202
税金等調整前四半期純損失（△）	△81,325	△14,098
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,835
法人税等調整額	1,116	1,386
法人税等合計	2,834	3,222
四半期純損失（△）	△84,159	△17,320
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△13	373
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△84,146	△17,693

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△84,159	△17,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,416	10,424
その他の包括利益合計	△12,416	10,424
四半期包括利益	△96,576	△6,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,563	△7,268
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	373

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業損失及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年6月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

当社は、本日開催の取締役会において、株式の併合及び定款一部変更について、2020年9月8日開催予定の臨時株主総会に付議することを決議いたしました。

なお、当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）は、上記手続の過程において、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなります。これにより、当社株式は、2020年9月8日から2020年9月24日までの間、整理銘柄に指定された後、2020年9月25日をもって上場廃止となる予定です。上場廃止後は、当社株式を東京証券取引所市場第二部において取引することはできません。

詳細につきましては、本日公表の「株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご参照ください。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において継続して営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても17百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、昭和産業株式会社による当社株式の公開買付けに賛同を表明し、2020年7月13日をもって本公開買付けは成立いたしました。今後、一連の手続を経て当社は昭和産業株式会社の完全子会社となる見込みです。

当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に対処すべく、従来より取り組んでまいりました家庭用こめ油、業務用こめ油の拡販、また業務用ナタネ油の拡販による工場稼働率の向上に加え、昭和産業株式会社による当社の完全子会社化によって、両社の製造体制の統合による生産効率向上、両社の商材と販路を活用したクロスセル、物流・購買コストの削減、研究開発の知見の相互補完による開発の加速といった様々なシナジーを見込んでおり、これらの施策により、業績黒字化を達成するよう取り組んでまいります。

また、当第1四半期連結会計期間末において現金及び預金9億61百万円を保有していることから、資金面に支障はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。